

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和6年 7月 ※1
(前回公表年月日:令和5年7月)

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																															
日本美容専門学校	昭和51年11月5日	阿部博人	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目21-12 (電話) 03-3200-0813																															
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																															
学校法人日美学園	平成14年11月20日	網蔵糸乃	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目21-12 (電話) 03-3200-0813																															
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																														
衛生	美容専門課程	総合美容科	平成31年文部科学省告示 号外第29号	—																														
学科の目的	美容家としての職業に必要な実践的・専門的な美容の知識・技術を習得させるとともに、「美の実践者」である美容家に求められる豊かな感性、デザイン力、コミュニケーション力を身につけることを目的としている。																																	
認定年月日	平成4年3月25日																																	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																											
2年	昼間	2010時間	780時間	0	1230時間	—	—																											
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																													
60人	51人	0人	4人	20人	24人																													
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学業成績の評価は主として試験の成績によるものとし、100点を満点とし70点以上を得たものを合格としている。 ・各科目の所定履修時間を履修していること。 ・全科目の認定試験に合格していること。																														
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏 季:7月上旬～8月下旬 ■冬 季:12月下旬～1月上旬 ■学年末:3月中旬～3月下旬		卒業・進級条件																															
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別相談・指導等の体制は手厚く整備している。		課外活動	■課外活動の種類 海外研修、スパ研修や合宿、音楽芸術特別授業、老人介護施設訪問など年間を通して様々な課外活動を実施。 ■サークル活動: 無																														
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和5年度卒業生) エステサロンへの就職割合が最も高く、その他、ネイルサロン、ビューティーアドバイザーとして大手化粧品会社など美容業界において幅広い業種に就職している。 ■就職指導内容 就職指導は、クラス担任と進路相談室の就職担当者により行っている。就職活動における心構えや活動方法等を「就職ガイダンス」にて伝えらるとともに、サロンと連携し「就職説明会」も参加している。 ■卒業者数 25 人 ■就職希望者数 23 人 ■就職者数 23 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 他の分野に就職、その他 2人 (令和5 年度卒業者に關する) 令和6年度5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和5年度卒業者に關する令和6年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th><th>種</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>INFA国際ライセンス</td><td>③</td><td>25</td><td>25</td></tr> <tr> <td>AEA上級エステティシャン</td><td>③</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr> <td>JEECIエステティシャンセンター試験</td><td>③</td><td>25</td><td>23</td></tr> <tr> <td>JNECネイル検定1級</td><td>③</td><td>8</td><td>2</td></tr> <tr> <td>JNAジェルネイル検定初級</td><td>③</td><td>7</td><td>7</td></tr> <tr> <td>JNAジェルネイル検定中級</td><td>③</td><td>9</td><td>9</td></tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	INFA国際ライセンス	③	25	25	AEA上級エステティシャン	③	2	2	JEECIエステティシャンセンター試験	③	25	23	JNECネイル検定1級	③	8	2	JNAジェルネイル検定初級	③	7	7	JNAジェルネイル検定中級	③	9	9
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																															
INFA国際ライセンス	③	25	25																															
AEA上級エステティシャン	③	2	2																															
JEECIエステティシャンセンター試験	③	25	23																															
JNECネイル検定1級	③	8	2																															
JNAジェルネイル検定初級	③	7	7																															
JNAジェルネイル検定中級	③	9	9																															
中途退学の現状	■中途退学者 4 名 ■中退率 6 % 令和5年4月1日時点において、在学者60名(令和5年4月1日入学者を含む) 令和6年3月31日時点において、在学者56名(令和6年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 理由の大部分は、他分野への進路変更となっている。その他、本人の体調不良、家庭の事情や金銭的な問題などが挙げられる。 ■中退防止・中退者支援のための取組 入学後は、学業面以外も担任によるきめ細やかな指導を行っている他、状況に応じて学年主任や部長との話し合いの場を設けている。また、プロのカウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制も整備している。																																	
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 甚大被災に被災・罹災された状況により授業料の減免区分を決定し減免を実施する(区分:授業料の1/3・2/3・3/3免除) 専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 : なし																																	
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																																	
当該学科のホームページURL	https://www.nichibi.com/course/general																																	

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

1)美容業に関連する業界団体、企業等と連携を図り、美容業界及び現場の動向、ニーズを把握する。
2)美容業の現状を把握分析した上で、本校の教育理念に基づき、カリキュラム編成や授業運営方法の検討を行う。
3)実施した教育内容については、教育成果を含めて教職員で振り返り、改善を図っていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校では、学内の「カリキュラム編成委員会」を中心に教育課程の編成を行っている。外部の企業等の委員を含めて構成される「教育課程編成委員会」には、「カリキュラム編成委員会」の主要メンバーも重複して所属することにより、「教育課程編成委員会」で外部委員より伺った意見等を、学内の「カリキュラム編成委員会」メンバーへと共有しやすい組織体制を取っている。意見・要請を十分に理解、精査した上で、実践的且つ専門的な職業教育を実施すべく、カリキュラム編成に活かしている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年5月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
関口 豊一	美容室CECILE International 代表東 京都美容生活衛生同業組合 理事	令和6年4月～令和9年3月	①
小栗 久一	(有)ピラク・フリー・ビューティー 代表取締役	令和6年4月～令和9年3月	③
脇田 将樹	株式会社イディア・ノブ代表取締役社長	令和6年4月～令和9年3月	③
春木 浩子	(有)ウ・オールドウインジャパン 代表取締役	令和6年4月～令和9年3月	③
網蔵 系乃	理事長	令和6年4月～令和9年3月	
熊木 徹	副校長・ 教務統括部長	令和6年4月～令和9年3月	
星 一磨	昼間部部長	令和6年4月～令和9年3月	
齋藤 道生	夜間部部長	令和6年4月～令和9年3月	
佐藤 美加子	総合美容科部長	令和6年4月～令和9年3月	
星 昭夫	顧問	令和6年4月～令和9年3月	
廣瀬 美和	事務長	令和6年4月～令和9年3月	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

翌年度の教育課程編成に関する委員会を前年度の1月以前に2回以上開催する。

(開催日時(実績))

令和5年度	令和6年度
第1回 令和5年6月20日 10:00～11:00	第1回 令和6年6月 予定
第2回 令和6年2月13日 10:00～11:00	第2回 令和6年11月 予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記

教育課程編成委員より、「自分の将来像を持てるような授業」、コロナ禍においても「実践的な授業の実施」の継続を期待するという意見を受け感染予防を万全にし、対面による相モデルの技術トレーニングを組み入れ、技術力、実践力アップのための美容実習の授業をカリキュラムへ反映させた。また、美容は接客業の側面も大きいので、実践的な接客のトレーニングとなるカリキュラムを実施した。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

1)当該科目における専門的知識を持ち、経験豊富な企業等の実務経験者を招いて演習や実習等の授業を行う。
2)企業等の実務経験者の高い専門性と技術を取り入れることで、学生に実践的な能力を身につけさせる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習・演習においては、科目ごとに当該分野の専門知識・経験が豊富な外部講師と本校の部長間で授業内容の協議を行っている。美容師育成のために必要となる高度な専門知識と最新の情報をもとにシラバス・授業計画を立てている。また、学習成果に関しては事前に外部講師と確認・作成した実力試験・期末試験を行い成績評価・単位認定を行っている。

(3)具体的な連携の例

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
解剖生理学	細胞、組織、骨格、筋肉、消化器、排泄器官、内分泌、神経、脳などの人体の構造を様々な角度から学びます。	株式会社マイン／マインメンタルヘルス研究所
美容概論 エステティックマネジメント	「美容」「美しさ」の基本コンセプトをテーマに、美容業や技術、プロとして資質、教育など、様々な角度から美容意識や価値観を学びます。サロン業務や運営に必要な経営管理、接客法、マーケティングなどの知識を学びます。	株式会社 美Vace
香粧品科学	基礎化粧品、メイクアップ化粧品、ボディ化粧品、芳香化粧品など役割や成分、種類、肌質に対応した使い方などを学びます。	株式会社 アリミノ
体験学習	美容のイベントやコンテスト見学などを通して、美容技術や就職に役立つ実習体験を行います。	株式会社アンジェラックス
その他の美容技術	エステ、ヘアアレンジ、メイク、ネイルによるトータルプロデュースの試験対策、またボト「ロジー」、アロマテラピー、マニティ、アユールバーダ、着付など、総合美容に必要な幅広い技術を習得します。	有限会社ヴォールドウインジャパン

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教育研修規定にあるように職員に対して学校の業務に必要な知識及び技能を計画的に教育することを目的に、当校が会員になっているエステの職能団体や美容師養成施設教員の資格認定と美容教育の調査研究、教材研究開発を行っている教育センターや東京都専修学校各種学校協会、美容団体の研修会等に毎年数名ほど参加している。参加した教員は習得した知識・技術を教員間で共有し、学生への教育へと反映させていく。

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「フェイシャルテクニク～毛穴ケア

期間:令和5年9月12日(1日) 対象:教員1名

内容:会員校となっている一般社

日本エステティツ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「色彩技能パーソナルカラー検定」

期間:令和5年12月11日・22日(2日) 対象:教員4名

内容:研修課目「モジュール2・3」(1日間)

課程の教員がメ

得。	
(3) 研修等の計画	

①専攻分野におけ

研修名「JBMA Professionalコース」(連

期間:令和6年7月24日・25日(2日間) 対象:教員5名

内容:メイクアップの実践力を高める

プロフェッショナル

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「色彩技能パーソナルカラー検定」

期間:令和6年7月25日 (1日) 対象:教員6名

内容:研修課目「モジュール3」

当該課程の教員

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学

(1) 学校関係者評価の基本方針

1) 並定業務關係者、主業生、掛

2) 学校関係者評価委員は「自己評価報告書」の評価項目に対し、当該委員の経験を活かして幅広く評価を行う。

3) 学内担当者は学校関係者評価委員会からの評価結果を、今後の学校運営及び教育活動等への改善に活かす。

37. 手内担当者は学校関係者評価委員会からの評価結果を、今後の学校運営及び教育活動等への改善に活かしていく。

ガイドラインの評価項目	
-------------	--

(1)教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

サロンが求めている人材や就職サポ-

維持し、さらに意識的に取り組んでいく方針を打ち立てた。
 本校の理念、人材育成方針、教育活動内容や学習成果等、学校関係者委員より高く評価していただいた項目については、教職員間で共有し、本校の強みとして継承・維持していくものとした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿	令和6年5月1日現在
-----------------------	------------

名前	
----	--

関口 豊一	美容室CECILE International 代表 東京都美容生活衛生同業組合 理事	令和6年4月～令和9年3月	業界団体役職等委員 /卒業生
小栗 久一	(有)ピラク・フリー・ビューティー 代表取締役	令和6年4月～令和9年3月	企業等委員 /卒業生
春木 浩子	(有)ヴォールドウィンジャパン 代表取締役	令和6年4月～令和9年3月	企業等委員
脇田 将樹	株式会社イディア・ノブ代表取締役社長	令和6年4月～令和9年3月	企業等委員 /卒業生

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 公開:令和6年7月

(ホームページ・その他(閲覧)

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

1)本校の教育理念・育成人材像及び学校運営方針につ

2)教育機関として、教育活動内容に対しての社会的説明責任を果たす。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」

ガイドラインの項目	
(2) 等間学校における情報提供等の取組に関するガイドライン	

カテゴリーの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要・目標及び計画	学校の概要・目標及び計画
(2) 各学科等の教育	美容専門課程の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育への取り組み
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納入金・修学支援
(8) 学校の財務	財務諸表
(9) 学校評価	自己評価報告書
(10) 国際連携の状況	国際連携の状況
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法
(ホムページ(1~7, 9~10)・広報誌)

URL: <https://www.r>

ORCID: <https://orcid.org/0000-0001-9142-9142> / <http://www.nhm.ac.uk/>

授業科目等の概要

(美容専門課程 総合美容科) 令和6年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		実 務 経 験 の あ る 教 員	企 業 等 の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			解剖生理学	細胞、組織、骨格、筋肉、消化器、排泄器官、内分泌、神経、脳などの人体の構造を様々な角度から学びます。	1 ～ 2 通	75		○	△		○			○	○	○
○			皮膚生理学	皮膚に関する解剖学、生理学、疾患や診断方法など皮膚の構造や働きについて深く学びます。	1 ～ 2 通	60		○			○			○	○	
○			栄養学	栄養素の知識、食生活、摂取エネルギー量、肥満のメカニズム、調理法など、美しい肌や健康的な身体づくり、栄養と食の知識を学びます。	1 ～ 2 通	45		○			○			○	○	○
○			香粧品科学	基礎化粧品、メイクアップ化粧品、ボディ化粧品、芳香化粧品など役割や成分、種類、肌質に対応した使い方などを学びます。	1 ～ 2 通	30		○	△		○			○	○	○
○			エステティック概論	歴史を背景に、世界的美容技術や情報・資格などのほか、エステティックに関した法律、衛生、消毒、電気学などを学びます。	1 ～ 2 通	60		○			○			○	○	○
○			カウンセリング概論	お客様に応じたトリートメントやケアを行うために必要なカウンセリングの知識・技術、資格試験に不可欠で実践力の向上にも大きく役立つ口頭試問法を学びます。	1 ～ 2 通	60		○			○			○	○	○
○			美容概論 エステティックマネジメント	「美容」「美しさ」の基本コンセプトをテーマに、美容業や技術、プロとして資質、教育など、様々な角度から美容意識や価値観を学びます。サロン業務や運営に必要な経営管理、接客法、マーケティング	1 ～ 2 通	45		○	△		○			○	○	○
○			美容技術理論	フェイシャル、ボディ、ヘアアレンジ、メイク、ネイル、脱毛、着付けなどの技術習得と目的や種類、特徴、技術上の注意点について履修します。	1 ～ 2 通	90		○			○			○		○
○			美学芸術学	絵画、彫刻、映像、写真など、芸術一般の歴史や文化について学びます。	1 ～ 2 通	30		○			○			○	○	
○			運動生理学	解剖学や生理学に裏付けられた理論をもとに、運動による心や身体に与える効果・影響・方法など、ウォーキング、ヨガ、姿勢などの実践を取り入れながら学びます。	1 ～ 2 通	30		○			○			○	○	
○			体験学習	美容のイベントやコンテスト見学などを通して、美容技術や就職に役立つ実習体験を行います。	1 ～ 2 通	150		○	△		○			○		○
○			美容キャリア教育	就職指導を基本とし、病院・福祉施設での美容実習やコミュニケーションの時間を通して他者との関りを学びます。	1 ～ 2 通	60		○			○			○	○	○
○			美容文化論 自由研究	日本、世界に目を向けた美容の歴史、文化、風俗、ファッションの変遷等の他に色彩や表現方法についても学び、各自のテーマを捉え、参考文献による調査を行い探求心、発想力を発揮し1つの作品をまとめます。	1 ～ 2 通	45		○			○			○		
○			エステティック	フェイシャル、ボディを中心に、様々な肌や身体を想定したテクニックと、各協会に対応した技術、脱毛や各種機器の使用法など、エステティックの専門技術を学び、卒業時にはINFA国際ライセンスの取得を目指します。	1 ～ 2 通	230				○	○			○		○
○			ヘアメイク	ブレイドやアップなどのヘアテクニックとともに、ベースメイク、パーティメイク、ブライダル他、日常から冠婚葬祭まで対応できるメイクアップを学び、INFA国際ライセンスの取得を目指します。	1 ～ 2 通	230				○	○			○	○	○
○			ネイル	マニキュア、ペディキュア、ジェル、アート、フットケアなどの基本から応用技術等、各種検定の上位取得を目指します。	1 ～ 2 通	230				○	○			○		○
○			その他の美容技術	メイク、ヘアアレンジ、メイク、ネイルによるトータルビューティの試験対策、またブライダル、アロマセラピー、マニキュア、フェイシャル、着付けなど、総合美容に必要な幅広い技術を習得します。	1 ～ 2 通	240			△	○	○			○		○
○			選択技術	各自の興味や目的に合わせて、エステ、メイク、ネイルのうち一つ選択し、美容の知識と技術をさらに高める目的で設置された日美の特色のある授業のひとつです。	1 ～ 2 通	300				○	○			○		○
					18科目		2010単位時間(単位)									

		授業期間等	
卒業要件としては2年間、本校の規定している必修科目及び選択必修科目の授業を履修し、学科・実技の試験に合格していること。又、レポート、提出物等すべて完了していること。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	20週